

# 外国語科学習指導案

広島県立教育センター  
指導主事 吉本 由佳

1 対象 中学校第3学年

2 単元名 ALTの家族に日本の中学校を紹介しよう

3 内容のまとめ 「書くこと」イ

日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとめのある文章を書くことができるようにする。

4 単元の見積

ALTの家族に日本の中学校について知ってもらうために、自分の学校に関する事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、これまでに学習した語句や文を用いてまとめのある文章を書くことができる。

5 単元の見積規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書くこと	<ul style="list-style-type: none"><li>・受動態の特徴やきまりを理解している。</li><li>・身近な事柄について、受け身などの簡単な語句や文を用いて書く技能を身に付けている。</li></ul>	ALTの家族に日本の中学校について知ってもらうために、自分の学校に関する事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、これまでに学習した語句や文を用いてまとめのある文章を書いている。	ALTの家族に日本の中学校について知ってもらうために、自分の学校に関する事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、これまでに学習した語句や文を用いてまとめのある文章を書こうとしている。

6 具体的な課題と採点の基準等

以下は「思考・判断・表現」の観点を評価するペーパーテストの問題である。

具体的な課題	ALTの家族（中学生の息子）から届いたメールを読み、自分の学校について知ってもらうために、返信を書こう。 <メール文> Hi, everyone! I'm Lucas. Let me tell you about my school. We don't have our own classroom. Each teacher has their own room, and students go to their classrooms. I think this is the biggest difference between American and Japanese schools. How about your school? Please tell me about it and your opinion. Write back soon! Lucas
採点の基準	条件1 相手が知りたい情報（自分の学校のクラスや教室移動）について書いている。

	<p>条件2 自分の考えや気持ちを書いている。</p> <p>条件3 内容にまとまりがある。</p> <p>A 三つの条件を満たしており、さらに詳しい情報や相手への質問等を書いている。</p> <p>B 三つの条件を満たしている。</p> <p>C 三つの条件を満たしていない。</p>
<p>「おおむね満足できる状況」と判断する生徒の記述例</p>	<p>Hi, Lucas. How are you?</p> <p>I was surprised to hear you don't have your own classroom. I think it's good to meet more people.</p> <p>We have homeroom class called "kumi" and we have our own classroom. We take most of classes in our classroom. I like our style because I can get to know my classmates well.</p> <p>Write back soon!</p> <p>Shin</p>

## 7 指導と評価

### (1) 知識・技能

「知識」の指導については、最初に能動態と受け身の文の書き替えを行う活動などを通して、「be 動詞+動詞の過去分詞」という文構造を理解させる。この「知識」を「技能」として活用するために、絵や写真に示された状況を表現する活動を通して、どのような場面で受け身が使用されるのかという言語材料の使い方について気付きを促すようにする。

記録に残す評価を行うペーパーテストでは、文脈や具体的な使用場面がある問題を作成し、受け身の使用の正確さを評価する。

指導に生かす評価はペーパーテストに至るまでの言語活動において行う。その際、受け身の特徴やきまりを理解せず、正確に書いていないというつまずきが想定される。このようなつまずきに対しては、「be 動詞+動詞の過去分詞」で受け身の文になるという文構造の理解に留まらないよう、下に示すような言語材料の使い方について気付きを促す説明をする。さらに、受け身の特徴やきまりの理解を深めるために、絵や写真を用いた表現活動や、受け身を使った生徒とのやり取りを豊富に行うようにする。

#### 言語材料の使い方について気付きを促す説明（例）

次の英文に続ける場合、①と②のどちらの英文が適切でしょうか。理由も考えてみましょう。

This is a famous picture. It is in a museum in Tokyo. It is about 135 years old.

- ① Van Gogh painted it.
- ② It was painted by Van Gogh.

（「英文法導入のための『フォーカス・オン・フォーム』アプローチ」高島秀幸（2011）を基に作成）

### (2) 思考・判断・表現

本単元では、ある話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるようにすることを目標としている。本単元における「まとまりのある文章を書く」

とは、自分の学校に関する事実を表す文と自分の考えや気持ち、その理由などを表す文の順序や相互の関連に注意を払い、話題に一貫性のある文章を書くことを意味している。この目標への到達に向けて、主な言語活動を2回実施し、段階的に自分の考え、気持ちを書くことやまとまりのある文章で書くことの指導を行う。

記録に残す評価を行うペーパーテストでは、ALTの家族から届いた「日本の中学校について知りたい」と書かれたメールを読み、返信を書く」という課題を設定する。その際、話題を「日本の中学校の学級（クラス）について」とし、生徒がその話題をメールの英文から読み取り、相手のニーズに応じた返信を書くようにする。ペーパーテストに至るまでの指導として、1回目と2回目の言語活動では、ペーパーテストと同じ場面設定で話題を変えて課題に取り組みさせる。1回目の言語活動（以降、言語活動①とする。）では、話題を「学校行事について」、2回目の言語活動（以降、言語活動②とする。）では「放課後の活動について」とし、言語活動①では、事実や自分の考え、気持ちなどを整理して書くこと、言語活動②では、文と文の順序や関連性に注意し、話題や文章構成に一貫性をもたせて書くことができるように、段階的に指導する。

指導に生かす評価は、主に言語活動①、②の場面で行う。その際、次のようなつまずきが想定される。

○事実の羅列

言語活動① We have Sports Day. We have Cultural Festival. We have School Trip.

言語活動② We have club activities. We have volleyball club, baseball club, music club and so on.

○自分の考えや気持ちを具体的に述べていない

言語活動① We have School Trip. It's fun.

○文と文を関連付けて並べていない

言語活動② We have club activities after school. I'm in volleyball club. There are many club activities. I like volleyball.

○話題に一貫性がない

言語活動② We have club activities after school. There are many club activities. I like volleyball so I'm in volleyball club. We clean our school after school.

これらのつまずきに対して、主に次のような手立てを講じる。各手立ての具体については、単元計画及び本時案に示す。

○「必要な情報は何か」「まとまりのある文章とはどのような文章か」と問いかけることで、生徒の思考を促す。生徒から出てきた「必要な情報」や「まとまりのある文章」の要素を整理したチェックリストを共有し、振り返りや相互評価の視点とする。

○読み手に具体的に伝える必要があることは何かという視点で、より読み手に分かりやすい内容とするためのフィードバックを行う。

○教科書本文や評価規準を満たしている生徒の記述を参考にさせ、まとまりよく書くための工夫に気付かせる。

### (3) 主体的に学習に取り組む態度

単元の始めに、単元の目標と単元の評価規準を共有し、目標到達のために言語活動①、②に取り組

むことを伝え、学習の見通しをもたせる。

指導に生かす評価は、言語活動①の中で、目的や場面、状況等を意識して試行錯誤しながら書いている姿や、他者からのアドバイス等を参考にしながら自分の学習状況を振り返ったり、改善したりしている姿を行動観察により見取る。その際、評価規準に照らして、生徒の学習状況がどの点でよいのか、どの点に課題があるのか、次にどのように学習に取り組みばよいかについて生徒との対話を通して指導する。

記録に残す評価は、言語活動②の後に、評価規準やチェックリストと照らし合わせながら、できたことやできなかったこととその理由を振り返りシートに記入させ、その記述内容とこれまでの行動観察の状況とを併せて評価する。

## 8 単元計画

時	各時間の目標 (■) 主な言語活動等 (・)	○指導に生かす評価 ◎記録に残す評価 ( ) 評価方法 「努力を要する」と判断した 生徒への手立て	指導上の留意事項
1 2	<p>■受け身の意味や用法について理解するとともに、絵や写真の状況を表現する文を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己目標を設定する。(第1時)</li> <li>・受け身の文構造についての説明を聞く。</li> <li>・教科書本文 (School Life Around the World) を読んで、受け身がどのような意味を表しているか、なぜ受け身が使われているのかを考える。</li> <li>・モニターに映された絵や写真について、受け身の文を使って表現することで、受け身の文がどのような場面で使われるのかについて理解を深める。</li> <li>・ワークシートに示された絵や写真の状況を、受け身を使った文で書く。</li> </ul>	<p>○知・技 (ワークシート) Easter eggs painted with different colors. と いった誤りに対しては、 「イースターエッグが描いたのかな。」などのように指摘し誤りに気付かせ、</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の目標及び単元の評価規準を共有する。</li> <li>・受け身の文構造、意味、言語材料の使い方という三つの視点から指導する。</li> <li>・教科書本文の文脈では行為者を明らかにする必要がないため、受け身が使われていることに気付きを促す。</li> <li>・何が話題になっているかによって、主語が変わることについて気付きを促す。</li> </ul>

		受け身の文構造を再度確認させる。	
3 4	<p>■外国の学校生活について書かれたメール文（教科書本文）の概要を捉え、その内容に対する自分の考えや気持ちを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書本文を読む前に、海外の中学校と日本の中学校の違いについて知っていることを共有する。</li> <li>教科書本文（外国の中学生が書いたメール文）を読んで、外国の中学校と日本の中学校との違いをワークシートの表に書き出す。</li> <li>個人で書き出した内容について、ペアで交流する。</li> </ul> <p>(例) ・ The school week is from Sunday to Thursday in the U.A.E.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>The classes are taught in English or Arabic.</li> <li>They have drama class in the U.K.</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の中学校との違いについて、自分の考えや気持ちをペアで伝え合う。</li> </ul> <p>(例) A : In the U.K. they have drama class. I think it's interesting.</p> <p>B : I think so, too. I was surprised that the school week is from Sunday to Friday in the U.A.E.</p> <p>A: Me, too.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>再度、日本の中学校との違いについて、別のペアで伝え合う。</li> <li>ペアで話した内容を踏まえ、自分の考えや気持ちをワークシートに書く。</li> </ul>	<p>本單元では「読むこと」の記録に残す評価は行わないが、表への記述状況から、本文の概要を読み取れているかを確認し、読み取れていない生徒にはキーワードとなる部分（school week など）に着目させるなどの指導を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師とALTが、日本と外国の学校生活や違いについての対話を行う。生徒にも “Is this different from our style?” “What do you think?” などと問いかけながら、やり取りを行う。</li> <li>本文を読んだ後に、日本の学校との違いについてやり取りを行うことを、あらかじめ伝える。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>It's interesting.などのワンパターンな表現に偏っている場合は、表現集や他の生徒の表現を参考にさせたりする。</li> </ul> <p>例 : It's surprising. / It sounds fun. など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えについて、理由などを付け加えて書いている生徒がいる場合は、具体的に気持ちを述べていることを褒め、全体で共有する。</li> </ul> <p>例 : I think it's good because they can learn to speak in front of people with confidence.</p>

<p>5</p>	<p>■ A L T の家族に日本の中学校について知ってもらうために、自分の学校に関する事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、返信のメールを書く。</p> <p>言語活動①</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>課題 A L T の家族から、日本の中学校について知りたいと書かれたメールが届いた。そのメールを読んで、返信を書こう。 (※学校行事に関する内容のメール文を準備し配付する。)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人でメールを読み、日本の学校との違いや相手が必要としている情報を表に整理する。</li> <li>・ 個人で整理したことを、全体で共有し、返信のメールに必要な情報は何かについて考え、その要素を出し合う。</li> <li>・ 生徒から出てきた要素を基に教師が整理したチェックリストを共有する。</li> <li>・ 個人で、返信のメールに書く情報を書き出す。書き出した情報を、学校行事に関することと自分の考えや気持ちとに分けて整理する。</li> <li>・ 整理した情報を基に、メールの返信を書く。</li> <li>・ チェックリストを基に、自分が書いた英文を見直す。</li> <li>・ 本時の目標に照らして、できたことや分からなかったことを振り返りシートに記入する。</li> </ul>	<p>○思判表 (ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ It's fun. など感想程度しか書けていない場合には、「読み手は何が楽しいのか理解できるだろうか」などと問いかけ、自分の考えを具体的に伝える必要性に気付かせる。</li> <li>・ 学校行事名を羅列している場合には、「読み手は、学校行事名だけを見て、どのような行事か理解できるだろうか。」など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 後日行うペーパーテストの概要について説明する。</li> <li>・ 次のような要素が挙がってくるように、評価規準に照らしながら考えさせる。(要素の例: 自分の中学校の学校行事に関する情報 / 自分の考えや気持ち、その理由)</li> <li>・ 生徒から出てきた要素をチェックリストの項目として整理し、デジタル機器を活用して共有する。</li> <li>・ チェックリストの項目は、後日実施するペーパーテストの評価の視点となることを伝える。</li> </ul>
----------	---	--	---

		<p>と問いかけ、相手が必要としている情報について思考を促す。</p> <p>○主体的に学習に取り組む態度（行動観察・振り返りシート）</p>	
<p>6 （本時）</p>	<p>■より相手に分かりやすく伝えるために、まとまりのある文章でメールを書くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「まとまりのある文章」とは、どのような文章かについて、教科書本文のメール文を参考にして考える。</li> <li>・提示されたまとまりのない文章の例を読み、どのように改善すればよいのかを考える。</li> <li>・「まとまりのある文章」に必要な要素について、全体で意見を出し合う。出てきた意見を、前時に作成したチェックリストに加え、共有する。</li> <li>・チェックリストを基に、自分が前時に書いたメール文を見直し、まとまりのある文章になるように構成する。</li> <li>・修正したメール文を読み、グループで互いにアドバイスをし合う。</li> <li>・教師や友達からのアドバイスを参考にして再構成する。</li> <li>・本時の目標に照らして、できたことや分からなかったことを振り返りシートに記入する。</li> </ul>	<p>○思判表（ワークシート）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文と文を関連付けて並べていない場合には、教科書本文などを参考に「自分の考え→考えを支える根拠や具体例」という構成に気付かせる。</li> <li>・文章を続けるために話題を変え、一貫性がなくなっている場合は、ひとつの話題について詳しい情報を加えることが必要であることを伝える。</li> </ul> <p>○主体的に学習に取り組む態度（行動観察・振り返りシート）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チェックリストに次のような項目が挙がってくるように、評価規準と照らし合わせながら考えさせる。（項目例：内容面）文と文の相互の関連がある／話題に一貫性がある）</li> <li>・語句や文構造等に誤りがある場合は指摘し、既習事項を想起させながら修正を促す。</li> <li>・チェックリストを基に、できるようになったこととその理由、工夫した点、分からないことや困っていることを振り返りシートに記入させ、自分の学習状況を捉えさせる。</li> </ul>

<p>7 8</p>	<p>■ALTの家族に日本の中学校について知ってもらうために、自分の学校に関する事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、返信のメールを書く。</p> <p>○ALTの家族から送られてきたメールを読んで、返信を書く。</p> <p>言語活動②</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>課題 ALTの家族から、日本の中学校について知りたいと書かれたメールが届いた。そのメールを読んで、返信を書こう。</p> <p>(※放課後の活動に関するメール文を準備し配付する。)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人でメールを読み、日本の学校との違いや相手が必要としている情報を把握する。</li> <li>・第5, 6時で学んだことを踏まえ、読み手に分かりやすく伝わるように工夫して返信を書く。</li> <li>・チェックリストに照らし、自分の書いたメール文を見直す。</li> <li>・グループで互いのメール文を読み、チェックリストを基にアドバイスをし合う。</li> <li>・アドバイスを基に、メール文を再構成する。</li> <li>・自己目標の達成状況を振り返り、次の課題を明確にする。</li> </ul>	<p>◎思判表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第5, 6時と同様のつまずきに対しては、チェックリストを活用し、ペアやグループで助言をし合うように指導する。</li> <li>・ペアやグループからの助言があっても修正ができていない場合は、個別に対話をし、改善方法を見いだせるように指導する。</li> </ul> <p>◎主体的に学習に取り組む態度(行動観察・振り返りシート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第5, 7時で作成したチェックリストの項目を整理し、後日実施するペーパーテストの評価の視点として共有する。(第8時)</li> <li>・まとまりよく書けている生徒の文章を全体で共有するとともに、その生徒に工夫した点を説明させる。</li> </ul>
<p>後日</p>	<p>ペーパーテスト</p>	<p>◎知技・思判表(ペーパーテスト)</p>	



8 本時（第6時）の展開

過程	学習活動	指導上の留意事項	指導に生かす 評価【観点】 (評価方法)																					
導入	<p>○目標を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>本時の目標</p> <p>より相手に分かりやすく伝えるために、まとまりのある文章でメールを書くことができる。</p> </div> <p>○「まとまりのある文章」とは、どのような文章かについて、教科書本文のメール文を参考にして考える。</p> <p>○提示されたまとまりのない文章の例を読み、どのように改善すればよいのかを考える。グループで改善案を交流する。</p> <p>○「まとまりのある文章」に必要な要素について、全体で意見を出し合う。出てきた意見を、前時に作成したチェックリストに加え、共有する。</p>	<p>・文と文の相互のつながり，話題の一貫性に着目させる。</p> <p style="text-align: center;"><b>チェックリストの例</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">チェック項目</th> <th style="text-align: center;">△</th> <th style="text-align: center;">○</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>放課後の活動についての情報を書いている。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>相手のメールの内容に関する感想を書いている。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>自分の学校の放課後の活動についての考えを書いている。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>自分の考えを支える理由や具体例などを書いている。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>文と文とのつながりがある。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>話題に一貫性がある。</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・最初は△だった項目が，相互評価等を通して再構成し，○になった場合は，どのような工夫をしたのかについて対話をしたり，振り返りシートに書かせたりすることで，生徒が自身の変容を自覚できるようにする。</p>	チェック項目	△	○	放課後の活動についての情報を書いている。			相手のメールの内容に関する感想を書いている。			自分の学校の放課後の活動についての考えを書いている。			自分の考えを支える理由や具体例などを書いている。			文と文とのつながりがある。			話題に一貫性がある。			
チェック項目	△	○																						
放課後の活動についての情報を書いている。																								
相手のメールの内容に関する感想を書いている。																								
自分の学校の放課後の活動についての考えを書いている。																								
自分の考えを支える理由や具体例などを書いている。																								
文と文とのつながりがある。																								
話題に一貫性がある。																								
展開	<p>○チェックリストを基に，自分が前時に書いたメール文を見直し，まとまりのある文章になるように構成する。</p>	<p>・チェックリストに△がある生徒のつまずきを見取り，対話を通して指導する。</p> <p>・まとまりよく書けている生徒に，どのような工夫をしたのかを問い，できていることについて褒める。</p>	<p>【思判表】(ワークシート)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】(行動観察)</p>																					

想定されるつまずきと手立て

○文と文を関連付けて並べていない

(生徒の記述例)

We have club activities after school. I'm in volleyball club. There are many club activities. I like volleyball.

(手立て)

- ・教書本文などを参考に「自分の考え→考えを支える根拠や具体例」という構成になっていることに気付かせる。
- ・生徒が書いた文章について、「話題に関する事実→事実についての具体例」「自分の考え→その理由」というつながりをもたせることに気付かせるために、どの文が事実についての具体か、どの文が自分の考えを支えているか、どのような順番にすると読み手に分かりやすいかを問いながら、構成を考えさせる。

○話題に一貫性がない

(生徒の記述例)

We have club activities after school. There are many club activities. I like volleyball so I'm in volleyball club. We clean our school after school.

(手立て)

掃除についての文を付け加えた理由について問う。文章を続けることが目的になっている場合は、特に伝えたい方の話題について詳しい情報を加えるように助言する。掃除についても書きたい場合は、放課後の活動について順序立てて説明することや、それぞれの活動についての詳しい情報を加える必要があることを助言する。

○修正したメール文をグループで互いに読み、アドバイスをし合う。

○教師や友達からのアドバイスを参考にし、再構成する。

○再構成した文章をチェックリストの項目と照らし合わせ、チェックを入れる。

まとめ

○本時の目標に照らして、できたことや分からなかったことを振り返りシートに記入する。

- ・できなかったことや困っていることを書いている場合は、次時に個別に指導する。
- ・できるようになったことについては、どのようにしてできるようになったかについて問い、自己の学びの調整を認知させる。

【主体的に学習に取り組む態度】(振り返りシート)